



市民予算枠事業（地域内分権推進型）交付金を活用して、各地域のまちづくりに取り組んでいる団体を紹介します。



▲ベビーマッサージでの1コマ



▲英語での紙芝居。みんな楽しそう！

◆どんな活動をしているのですか？

コサージュを作ったり、手作りおやつを食べたり、大人も楽しんでいただける活動も行っています。また、「英語であそぼうの学び」などは、予約制ではないので気軽に参加してくれている人が多いと思います。

◆活動していて「よかった!」と思うことは?

情報サイト「つながるねット」からの発信やチラシなどもありますが、口コミなどで知って参加してくれている方が多く、参加した方の紹介で仲間が増えていくという実感はあります。新しく翼エリアに来た方からも、活動をとおして高浜に慣れ、親しみが出てきたと言っているだけでもうれしいです。また、地域の人同士が子育てについて情報交換することにより、安心して子育てができ、仲間も増えていくことで、地域活動への参加機会が増え、地域の活性化にもつながることは、翼エリアのためにもなっていると感じています。

◆「翼小学校区をこうしていきたい！」という思いを教えてください。

来てくれている子どもたちが、大人になっても高浜に残ってほしいという思いはあります。翼エリアは新しく転入された方が多いからこそ、今の子どもたちが大人になって次の世代に、高浜市のよさを教えていってほしいと思います。そのために、「いつまでも住み続けたい」と思えるまちづくりをしていかなければなりません。PamPam チャイルドも住みよいまちにするために活動していきます！



▲みんなでなかよくリトミック

⑤「地域内分権推進型」では どんな事業が対象となるの？



◇小学校区の課題解決や魅力アップに向けて、まちづくり協議会やまちづくり協議会の構成団体が自主的・主体的に取り組むことによって、地域がよりよい方向に向かう事業。活動の効果が、地域に広くいきわたる事業が対象です。
(10月1日号では、審査はあるの？提案の条件は？について説明します。)